

令和7年度 福島市立信夫中学校学校経営・運営ビジョン「信夫の教育」

令和7年度基本方針

- ～生徒が真ん中の学校づくり～
- 目の前の生徒の自己実現こそが学校の究極の使命であることを自覚し、常に生徒を中心に据え、学校経営・運営の一層の充実をめざす。
- 「信頼される学校」をめざし、地域や家庭と連携しながら、全職員が一丸となって教育活動の実践を進める。
- 生徒たちが目標をもって積極的に学校生活を送ることができるよう支援する。

教 育 目 標

校 訓 「自律心」

- 自ら学び 考えぬく生徒
- 思いやりがあり 協調する生徒
- 心身を鍛え たくましく生きる生徒

福島市教育委員会基本目標

ふるさとへの誇り 夢とあこがれ
心（ひとみ）かがやく ふくしまっ子
やがて独り立ちし、未来を担っていく子ども一人一人が、郷土へ愛着と誇り、「夢」と「志」を持ち、自信を持って健やかにたくましく成長するために、学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任と使命を自覚し、連携を深め、子どもたちの「生きる力」を培い、未来を切り拓く力を育む教育を推進する。

【生活行動スローガン】

- 時を守り
 - ・登下校時刻の厳守
 - ・チャイムスタート
- 場を清め
 - ・無言清掃
 - ・整理整頓
- 礼を正す
 - ・心のこもった挨拶
 - ・凜とした返事

【めざす生徒像】

- 学ぶ習慣を身に付け、主体的に学習に取り組む生徒
- 自他を認め合い、強い意志でやりぬく生徒
- 健康・安全に心がけ、活力ある生活を送ることができる生徒

信夫中学校区 めざす子どもの姿

- 元気にあいさつができる子ども
- 話をしっかり聞くことができる子ども
- しっかり学ぶことができる子ども

【めざす教師像】

- 授業で勝負する教師
- 生徒を大切にする教師
- 何事にも全力で取り組む教師
- チームワークのある教師

【めざす学校像】

楽 し い 学 校

わかる・できる授業が展開され
一人一人の力が発揮される学校

美 し い 学 校

美的で秩序ある環境で
一人一人の心が磨かれる学校

温 か い 学 校

互いの存在が尊重され
一人一人が大切にされる学校

生徒が生き生きと輝いている学校

本年度の努力目標

確 か な 学 力

- 基礎・基本の確実な定着を図る。
- 主体的・対話的で深い学びを実現する。
- 資質・能力の育成のために、教科等横断的な学習を充実する。

豊 か な 心

- 基本的な生活習慣や規範意識の向上を図る。
- 個性や多様性を認め合う心の育成に努める。
- 生徒の成長・発達を支える生徒指導の充実に努める。

健 や か な 体

- 安全・健康教育を推進・強化する。
- 体力・運動能力の向上を図る。
- 複雑化・多様化する今日的な課題に対する指導を充実する。

重 点 事 項

- ◇ 「授業5」「指導5」「信夫スタイル」を踏まえた授業実践（個別最適・協働的な学び）
 - ・ICT機器の強みを生かした効果的な活用
- ◇ 「聴く力」「読み解く力」「活用力」の育成に向けた指導方法の工夫
- ◇ 親和的に学び合う学習集団の育成
- ◇ 「家庭学習スタンダード」を活用した家庭学習の習慣化と自己マネジメント力の育成
- ◇ 読書習慣づくりの推進
- ◇ 同僚性を生かした校内研修の充実（教科の枠を越えた互見授業）

小中連携事業の推進（家庭学習・学習訓練）

実 践 事 項

- ◇ 自己指導能力の育成
 - ・自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成
 - ・自己決定の場の提供、安全・安心な風土づくり
- ◇ 新たな不登校を出さない取組と不登校の改善（SRの活用、SC・SSW・関係機関・地域等との連携）
- ◇ 人権教育の推進（「いじめゼロ」の実現）
- ◇ 3年間の系統性のあるキャリア教育の充実
- ◇ 学校の教育活動全体を通して道徳性の育成
- ◇ 自治的な生徒活動の促進（全校集会等）
- ◇ 「本物のあいさつ」と「自問清掃」の励行

小中連携事業の推進（挨拶・メディアの利用）

- ◇ 安全教育の推進（危機回避能力の育成）
 - ・登下校時の事故ゼロ、自転車運転違反ゼロに向けた指導の強化
- ◇ 「運動・食事・睡眠」を意識した望ましい生活習慣の確立と食育の推進
- ◇ 新体力テスト等の効果的な活用
- ◇ 運動に積極的に取り組む習慣や態度の育成
- ◇ 自律的なメディアコントロール力の育成
- ◇ 差別や偏見等の防止に向けた指導の充実
- ◇ 教育相談の充実と家庭・関係機関との連携
- ◇ 心と体を育む部活動の充実と地域との連携

小中連携事業の推進（食育・体育）

「社会に開かれた教育課程」による、家庭及び地域社会との連携の強化